

取組事例 高齢者乗合タクシー事業による村内交通網の充実化と村内施設を活用した新たなイベントの開催による交流人口の拡大 (新篠津村)

新篠津村では、高齢者に対する安定的な地域交通手段を提供することにより誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進するとともに、村内施設等で新たな観光資源の開発を進めるなど観光振興に取り組み、近隣大学の学生等と連携して新たなイベントを開催することにより、交流人口の拡大を目指している。

関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H30)	目標値 (R元)	進捗率 (%)
観光施設 交流人口数	199,916 人	1,031,547 人	500,000 人	206.3%
乗合タクシー 利用者数	137人	145人	150人	96.7%

取組事例 誰もが安心して暮らせるまちづくりと交流人口の拡大

1. 高齢者乗合タクシー事業の実施

○公共交通機関の乏しい新篠津村では、高齢者に対する安定的な地域交通手段として高齢者乗合タクシー事業を実施している

- ・平成26年 試行運行開始
 - ↓
 - ・平成28年 本格運行
- 平成30年度までに延べ約8,500人、年間約1,700人の高齢者が利用



安定的な交通手段を提供し、安心な暮らしを守る

2. 新たなイベントの開催による交流人口の拡大

○道の駅に併設された温泉の近隣には、手ぶらで楽しむこともできるキャンプ場、雪が降っても気軽に楽しめる釣り小屋付きのワカサギ釣り場、ゴルフ場等があり、これらの施設等における新たな観光資源の開発を進めるなど、新篠津村ならではの観光を推進

- ・村のPRキャラクターを中心にしたキャラクターイベントの開催
- ・札幌国際大学の学生と新篠津村地域おこし協力隊との連携による村の新たな冬のイベント「雪に恋！しんしのつ～SHINSHINOTSU SNOW FESTIVAL～」を開催



おこめちゃんフェスティバルの実施風景



雪に恋！しんしのつの実施風景

新たな観光資源の開発やイベントの開催を通じて地域の知名度アップを図り、新篠津村への新しいひとの流れをつくることを目指す